

TNM&TOPPAN ミュージアムシアター 上演作品のご案内

特別展「京都」連携企画、VR 作品『洛中洛外図屏風と岩佐又兵衛』を10月5日より上演開始

東京国立博物館東洋館 **TNM & TOPPAN** ミュージアムシアターでは、2013年10月5日(土)～12月23日(月・祝)まで、同館にて開催する特別展「京都 - 洛中洛外図と障壁画の美」(主催:東京国立博物館、日本テレビ放送網、読売新聞社)との連携企画として、**VR 作品『洛中洛外図屏風と岩佐又兵衛』**を上演します。

本作品では、浮世絵の創始者ともいわれる奇才の絵師、岩佐又兵衛が「洛中洛外図屏風(舟木本)」(東京国立博物館蔵)に描いた京都の人々の様子を、300インチの大型スクリーンに実寸の約100倍までに拡大して投影し、又兵衛の緻密な人物表現をつぶさに鑑賞します。また、岩佐又兵衛の人物像を紐解きながら、又兵衛が描いた洛中洛外の世界に迫ります。

なお、「京都」展のチケット(半券可)提示で VR 作品『洛中洛外図屏風と岩佐又兵衛』のミュージアムシアター鑑賞料から100円を割引きます。

<VR 作品『洛中洛外図屏風と岩佐又兵衛』>

京都の街並み、季節の風物や行事を俯瞰して描いた洛中洛外図は、室町時代から江戸時代にかけて数多く描かれた題材です。その中でも、人物描写で異彩を放つのが、岩佐又兵衛が描いた通称「舟木本」。又兵衛が想像を交えて描いた京都には、力がものを言う戦国時代から法が定める江戸時代へと移り変わる瞬間が切り取られています。画面には、徳川家を象徴する二条城と豊臣家ゆかりの豊国神社を対峙させ、街なかには荒々しい喧嘩の様子や抱き合う男女の姿など、変わりゆく時代を尻目に、響きわたる喧騒、奔放な活気に満ちている京都が描かれています。



抱きついたり、口説いたりと奔放な様子が見て取れる



力で物事を解決する、荒々しい戦国の空気が残る場面も



わずか3cmの人物もスクリーンいっぱい超拡大

監修:東京国立博物館 制作:凸版印刷株式会社

【利用案内】

場 所: 東京国立博物館東洋館地下1階 TNM&TOPPAN ミュージアムシアター

上演期間: 2013年10月5日(土)～12月23日(月・祝)の水・木・金・土・日・祝・休日

上演時間: 水・木・金 12:00*2 / 13:00 / 14:00*2 / 15:00 / 16:00*1

土・日・祝・休日 11:00 / 12:00*2 / 13:00 / 14:00*2 / 15:00 / 16:00*1 ※所要時間 約40分

*1:10月20日(日)まで *2:12月1日(日)まで

チケット販売所: 正門観覧券売場(窓口)、東洋館地下1階シアターチケット売場

鑑賞料: 高校生以上:500円 中学生・小学生:300円 未就学児、障がい者及び介護者1名 無料

*総合文化展当日券(一般600円/大学生400円)とセット購入で100円引き

*特別展「京都 - 洛中洛外図と障壁画の美」のチケット提示で100円引き

*当日予約制

シアターウェブサイト: <http://www.toppan-vr.jp/mt/>**【報道に関するお問合せ・掲載用写真について】**

凸版印刷株式会社 文化事業推進本部パブリシティ企画チーム

E-mail bunkajigyo@toppan.co.jp TEL 03-5840-4899 FAX 03-5840-1910

東京国立博物館 広報室 TEL 03-3822-1302 FAX 03-3822-2081